京都大学のガバナンス体制



［総長・理事一同］
上段左から、北島 薫、大嶋 正裕、浅山 理恵、吉田 光成
下段左から、椹木 哲夫、北川 宏、立川 康人、江上 雅彦、稲垣 恭子

― 高度な大学運営を実現するガバナンス ―

総長のリーダーシップを支える執行部と専属オフィス

学長である総長が全体を総理し、研究・教育・経営を推進していくにあたり、適切な権限と責任の分担による業務執行体制となるようプロボスト及びCFOを含む理事を配置している。特に、総長、プロボスト、CFOの3者による戦略調整を行う仕組みを整備し、高度な大学運営を支える機動的かつ的確な意思決定体制を構築している。また、総長、プロボスト、CFOの高度な意思決定を支える専属のオフィスを各々設置している。

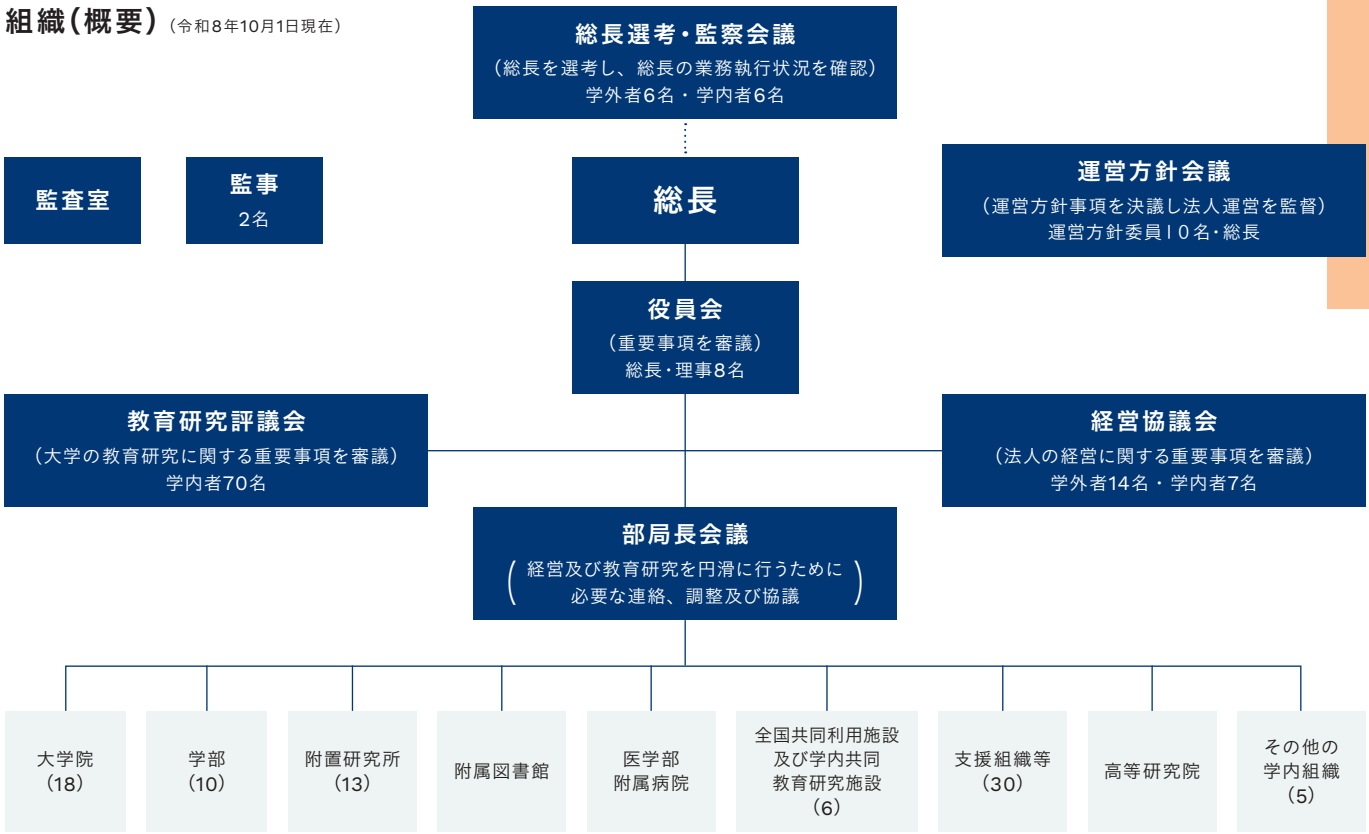
「機能」に基づいた組織への再構築と支援体制の整備

従来の職種に紐づいた組織（教員組織や事務組織）から、機能に基づいた組織（研究組織・教育組織・支援組織）へと再編を進めている。そして、支援組織においては、教員、専門職、事務系総合職による多職種協働型の総合的な支援マネジメントを行う体制を基本としている。また、学術領域を基盤とするデパートメント制の導入などの抜本的な組織改革に向けて、専門スキルを有する支援人材の拡充をはじめ、教員が最大限研究・教育に専念することのできる体制の整備を進めている。

多様なステークホルダーの声を反映する運営方針会議等の全学会議

運営方針会議、役員会、経営協議会、教育研究評議会を設置しており、それぞれの役割に応じ、所管事項を審議または決議し、高度で安定的な大学運営を行うことのできる体制を構築している。特に、運営方針会議においては、構成員11名のうち過半数の6名を、経営協議会においては委員21名のうち3分の2にあたる14名を、学術界、産業・経済界、行政など広く学外の者から任命している。これにより、高い専門性や幅広い知見を取り入れ、多様なステークホルダーの声を大学経営に反映できる体制を構築している。

組織（概要）（令和8年10月1日現在）



総長・理事 支援組織概要

監事：山口 佳三　吉貴 寛良
［任期:R6.9.1～R10.6.30］

総長：立川 康人
［任期:R8.10.1 ～ R14.9.30］
総長戦略オフィス

プロボスト：北川 宏
企画・調整、研究推進、情報担当理事（副学長）
特命事項:競争的研究資金戦略、国際共同研究
［任期:R8.10.1 ～ R10.9.30］
プロボストオフィス

CFO：江上 雅彦
財務、人事戦略、施設、環境担当理事（副学長）
［任期:R8.10.1 ～ R10.9.30］
CFOオフィス

理事	氏名	担当・役割	特命事項	任期
	浅山 理恵※	産官学連携		R8.10.1～R10.9.30
	稲垣 恭子（副学長）	DEIB推進、渉外（基金・同窓会）		R8.10.1～R10.9.30
	大嶋 正裕（副学長）	教育、学生、入試	厚生補導	R8.10.1～R10.9.30
	北島 薫（副学長）※	教育国際化推進	学生国際交流	R8.10.1～R10.9.30
	樋木 哲夫（副学長）	リスク・コンプライアンス、グローバル・エンゲージメント		R8.10.1～R10.9.30
	吉田 光成	総務、労務、IR、危機管理、大学評価	業務改革（DX推進）、報道対応	R8.10.1～R10.9.30

※非常勤

- 総合研究推進本部
- 学生総合支援機構
- 教育改革戦略本部
- 図書館機構
- 国際高等教育院
- 人と社会の未来研究院
- 大学院教育支援機構
- 学務部

- グローバル・エンゲージメント・オフィス
- 業務改革推進室
- 総務室
- DEIB推進室
- リスクマネジメント支援オフィス
- ディベロップメントオフィス
- 広報室
- 監事支援室
- 情報環境機構
- 不正防止実施本部事務室
- 情報部

- 成長戦略本部
- 人事部
- 資金運用室
- 会計管理部
- 環境安全保健機構
- 施設部
- HR戦略オフィス